

ここが聞きたい

Q & A

— 第9回 (12月) 定例会 —

12月定例会は8日・9日に開かれ、報告1件、議案12件を原案どおり可決、同意案件1件に同意、意見書1件、(株)ソニア再生の決議を採択。

■専決処分の報告

22年9月14日に町道寺村大渡7号線を通行中の自動車に側溝蓋が跳ね上がり損害を与えた事故の和解。

内容

(1) 町は、相手方に4万8649円支払う。
(2) 今後、相手方は、本件に関し一切の異議申し立てをしない。

■グリーンフォレストセンターの設置・管理条例の改正

ゆの森の改修工事や現在実施中の観光拠点多目的ホール整備工事に伴い、利用できる施設を変更し、料金を改める。
施行日は交付の日から。

(全員 可決)

■奨学資金貸付基金条例の改正

償還期間の上限を定め、毎月の償還金額が多額にならないよう規則で定めることができるよう

改正するもの。
施行日は交付の日から。
(全員 可決)

■一般会計補正予算(第5号)

7億4436万2千円を追加し、79億4138万9千円とする。

問 橋本眞一議員

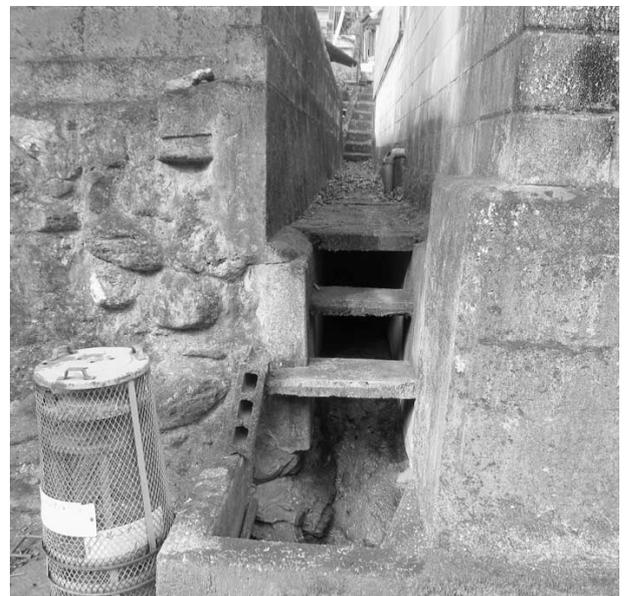
企画総務費のまちづくり推進事業、工事請負費の内容は。

答 企画課長



12月に国の経済対策で、きめ細かな臨時交付金の交付額が示され、計上している。

委託料と工事請負費、合計で2億2千万円のきめ細かな臨時交付金に対する予算の補正。



排水溝 (安の川)

問 橋本議員

池川土居、下町の排水溝の内容を。

答 池川地域振興課長



集落内の排水路の流末処理として、安の川に下りる消防道との境山手側に暗きよを設置しているが、大雨の時に排水が逆流し、臭いも発生して迷惑しているので、改修する。

問 岡田良成議員

林業費、舗装工事費の内訳は、どう発注するか。

答 町長

五年間の計画で、来年度が最終年度になり、道整備交付金事業が、前倒しで追加配分された事業。やむを得ないものは、専門業者に発注せざるを得ないと考えているが、内容により、できるだけ地元業者に配慮したい。

問 岡田議員

地元業者を指名し、舗装工事も、骨材は地元を使うなど、できるだけ地

元が潤うような方向で。

答 町長
地元業者の優先、資材、労務などは、地元活用をお願いしている。また、会合などもあるので、町内施設の利用をお願いしている。

問 西森久雄議員
子宮頸がん等のワクチン接種の内容は。

答 仁淀健康福祉課長



ワクチンの接種時期は23年1月から。対象者は中一から高三までの115人。三回接種で、一回接種後一カ月経過し二回目接種、二回目から三回目の期間は六カ月をおいて接種。個人負担はなし。

問 農本規仁議員
10月1日にたばこが値上がりした。来年度のた

ばこ税の見通しは。



答 税務課長
かなりの減額が予想される。

(全員 可決)

■国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

4854万1千円を追加し、10億5289万9千円とする。

(全員 可決)

■介護保険特別会計補正予算(第2号)

48万8千円を減額し、11億6040万6千円とする。

(全員 可決)

■町道桜線開設工事請負契約の一部変更

工事内容が51万9800円減額し、1億292万5200円。

新営開発(有)

(全員 可決)

■町道寺村線改良工事請負契約の一部変更

工事内容が993万4050円増額し、1億2417万4050円。

(株)不二土木

(全員 可決)

■別府小屋内運動場改良工事請負契約の一部変更

工事内容が655万2千円増額し1億5418万950円。

契約の相手方

(株)岸之上工務店

(全員 可決)

■林道桐見川白石川線改良工事請負契約の一部変更

工事内容が1478万4千円増額し、7211万4000円。

契約の相手方

(株)西森建設

(全員 可決)

■(繰越)観光拠点多目的ホール整備工事請負契約の一部変更

工事内容が1290万6600円増額し、8488万6200円。

(全員 可決)

■字の区域及び名称の変更

字の名称を変更するため。

(全員 可決)

■固定資産評価員の選任

住所

仁淀川町寺村

氏名

井上 三信(53)

(同意)



川又橋改良中(大字大植)

(株) ソニア再生の決議

平成5年操業開始以来、赤字放漫経営を続けてきた(株)ソニアに対し、議会は合併当初から、最大株主である町長(当時藤崎町長)に対し、改善を求めてきた。

21年には、資金が枯渇して来た(株)ソニアは、新たに援助を求めてきたが、再生計画が十分ではなく、議会はこれ以上の公金を費やすことを危ぐし、21年9月18日、7対5で解散の決議をした。

同時に議会は(株)ソニア調査特別委員会を設置し、専門家(税理士)も参加し、破綻の原因を調査し、一定の結論を得た。

原因調査の結論を踏まえ、黒字経営ができるその可能性を見出した本町議会は、関係二町の協力を得て、残っている資産を有効に活用し、(株)ソニアが新体制で、仁淀川流域の林産業発展に努めることを望み、ここに協力を惜しまないことを決議する。

問 岡田議員

21年9月18日に、(株)ソニアはもう第三セクターでやるべきでない、17年間の決算を見た時、15億7千万円の金を使い果たした状況から、解散決議に賛成した。
解散決議に賛同した理由について説明を願う。

答 西森(常)議員

昨年のソニア側の説明は、納得できるものではなく、これ以上赤字を出すことはできない趣旨から解散を決議した。
だが、私たちは仁淀川町を守っていかなければならぬ。

これから残っていくためには、若者の働く場を作らなければならない。そのためには、林業の発展は欠かせない。

町の将来のために今あるソニアの財産を活かし、大原儀郎氏の指導を仰ぎ、黒字再生の可能性を探り、実現していくために、再生決議を出した。

反対討論

岡田議員
林業は大事なものと理解しているが、今の林業行政は大変厳しく、赤字経営を続けたソニアを第三セクター体制で続けるのは、町民感情からできない。町民に負担を掛ける訳にはいかなから反対。

提出者
賛成者

- | | |
|----|----|
| 西森 | 常晴 |
| 橋本 | 眞一 |
| 農本 | 規仁 |
| 藤野 | 格昭 |
| 野村 | 安夫 |
| 藤原 | 陽三 |
| 坂本 | 伝一 |
| 片岡 | 政徳 |



(株) ソニア